

現行条文(令和3年版以前)							新条文(令和7年版)							改定理由							
編	編	章	節	条	項	下 項	現行条文			編	編	章	節		条	項	下 項	編章節条 (項目見出し)	新条文		
2	2	1	2				本調査は、「環事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」、「湖沼水位調節施設事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」及び「放水路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(以下この節において「技術指針省令」という)に準拠して実施するものとする。			2	2	1	2				編章節条 (項目見出し)	本調査は、「環事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(「平成27年6月1日国土交通省令第4号」)、「湖沼水位調節施設事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(「平成27年6月1日国土交通省令第43号」)及び「放水路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(「平成27年6月1日国土交通省令第43号」)(以下この節において「技術指針省令」という)に準拠して実施するものとする。			内容加筆
2	2	1	2	2105	2	(4)	受注者は、把握した事業特性及び地域特性を踏まえ、技術指針省令第二十一条に従い、必要に応じ当該事業の環境影響評価の標準項目の削除又は追加を行うものとする。			2	2	1	2	2105	2	(4)	環境影響評価の項目の選定	受注者は、把握した事業特性及び地域特性を踏まえ、技術指針省令第二十一条に従い、必要に応じ当該事業の環境影響評価の標準項目の削除又は追加を行うものとする。			内容加筆
2	2	1	3	2112	2	(2)	なお、文献の収集及び聞き取り相手の選定にあたっては、「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】」に基づき、学識経験者の助言を得るようとする。 なお、文献の収集及び聞き取り相手の選定にあたっては、「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】(国土交通省・平成28年1月)」に基づき、学識経験者の助言を得るようにする。			2	2	1	3	2112	2	(2)	事前調査	受注者は、現地調査を行う前に、設計図書に基づき、文献調査及び聞き取り調査を実施するものとする。 なお、文献の収集及び聞き取り相手の選定にあたっては、「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】(国土交通省・平成28年1月)」に基づき、学識経験者の助言を得るようにする。			内容変更
2	2	1	3	2112	2	(5)	受注者は、調査成果について「河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル(河川版)」に基づき、評価を取りまとめ、考察を行うものとする。			2	2	1	3	2112	2	(5)	調査結果の取りまとめ	受注者は、調査成果について下記のとおりまとめるとする。 ① 考察・評価 受注者は、調査成果について「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】(国土技術政策総合研究所・平成28年1月)」に基づき、学識経験者の助言を仰ぎ、評価をとりまとめ、考察を行う。 ② データの入力 受注者は、「河川水辺の国勢調査出入力システム【河川版】(Ver4. 80) (リバーフロント整備センター・平成27年度版)」に基づき調査データの入力を行う。			内容変更
2	2	1	3	2117	2	(5)	受注者は、現地調査において採集した陸上昆虫類等を室内に持ち帰り、調査地区ごとに同定及び計数を行い、「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】」に基づき標本を製作するものとする。			2	2	1	3	2117	2	(5)	室内分析	受注者は、現地調査において採集した陸上昆虫類等を室内に持ち帰り、調査地区ごとに同定及び計数を行い、「河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル【河川版】(国土交通省・平成28年1月)」に基づき標本を製作するものとする。			内容加筆
2	2	1	3	2119	2	(2)	受注者は、「河川水辺の国勢調査マニュアル(案)(河川空間利用実態調査編)(国土交通省 平成16年3月)」に基づき、河川空間の利用実態として有料施設区域の調査、定点観測、区間観測等を行い、集計を行うものとする。			2	2	1	3	2119	2	(2)	河川空間利用実態調査	受注者は、「河川水辺の国勢調査マニュアル(案)(河川空間利用実態調査編)(国土技術政策総合研究所 平成30年12月)」に基づき、河川空間の利用実態として有料施設区域の調査、定点観測、区間観測等を行い、集計を行うものとする。			内容変更
2	2	1	3	2120	2	(2)	受注者は、設計図書及び「河川水辺総括資料作成調査の手引き(案)」に基づき、河川水辺の国勢調査の結果を収集・整理し、総括的な考察検討をおこなうものとする。			2	2	1	3	2120	2	(2)	資料調査	受注者は、設計図書及び「河川水辺総括資料作成調査の手引き(案) (リバーフロント整備センター・平成13年8月)」に基づき、河川水辺の国勢調査の結果を収集・整理し、総括的な考察検討をおこなうものとする。			内容加筆
2	2	2	2	2202	2	(6)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。 また、痕跡測量についての計算点検、作図点検、作業実施報告書、社内点検、校正直し等を行うものとする。			2	2	2	2	2202	2	(6)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。 また、痕跡測量についての計算点検、作図点検、作業実施報告書、社内点検、校正直し等を行うものとする。			内容変更
2	2	2	2	2204	2	(5)	受注者は、対象とする降雨について、降雨の原因、降雨パターン、地域分布、降雨継続時間等について各要因別に分類を行い、降雨特性を検討し、取りまとめるとする。			2	2	2	2	2204	2	(5)	対象降雨の作成	受注者は、降雨特性の検討、降雨確率の検討等を踏まえて、主要地点上流域の対象降雨の波形作成を行うものとする。			内容変更
2	2	2	6	2212			河道計画			2	2	2	6	2212			河道計画(中小河川)				項目名追加
2	2	2	6	2212	2	(4)	現況河道解析			2	2	2	6	2212	2	(4)	河川特性の把握				項目名変更
2	2	2	9	2215			正常流量検討			2	2	2	9	2215			正常流量検討(中小河川)				項目名追加
2	2	3	2	2303	2	(8)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	2	2303	2	(8)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	2	2304	2	(8)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	2	2304	2	(8)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	2	2306	2	(3),(1),1	法線形(3案)			2	2	3	2	2306	2	(3),(1),1	基礎検討	法線形(3案程度)			内容加筆
2	2	3	3	2306	2	(10)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	3	2306	2	(10)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	3	2307	2	(9)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	3	2307	2	(9)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	4	2309	2	(9)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	4	2309	2	(9)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	4	2310	2	(11)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	4	2310	2	(11)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	5	2312	2	(11)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	5	2312	2	(11)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	5	2312	3	(4)	測量調査			2	2	3	5	2312	3	(4)	測量成果				内容変更
2	2	3	5	2313	2	(3),(4)	付帯工諸元			2	2	3	5	2313	2	(3),(4)	付帯工諸元				内容変更
2	2	3	5	2313	2	(10)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	5	2313	2	(10)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	6	2315	2	(5),(3)	受注者は、開閉機の設定構造から必要スペースを定め、操作室の必要形状寸法を決定するものとする。 また、操作室の意匠は、決定されたデザインについて形状寸法、材質を3案程度のバース(無着色、鉛筆仕上げ)にて比較検討するものとする。			2	2	3	6	2315	2	(5),(3)	操作室の検討	受注者は、開閉機の設定構造から必要スペースを定め、操作室の必要形状寸法を決定するものとする。 また、操作室の意匠は、決定されたデザインについて形状寸法、材質を3案程度のバース(無着色、鉛筆仕上げ)にて比較検討するものとする。 なお、操作室照明、昇降設備等について基本条件を検討するものとする。			内容加筆
2	2	3	6	2315	2	(9)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	6	2315	2	(9)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	6	2316	2	(10)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	6	2316	2	(10)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	7	2318	2	(6)	受注者は、施工計画について、第2309条樋門詳細設計第2項(6)に準ずるものとする。			2	2	3	7	2318	2	(6)	施工計画検討	受注者は、施工計画について、第2309条樋門予備設計第2項(6)に準ずるものとする。			内容変更
2	2	3	7	2318	2	(9)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	7	2318	2	(9)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更
2	2	3	7	2319	2	(10)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			2	2	3	7	2319	2	(10)	照査	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。			内容変更

現行条文(令和3年版以前)										新条文(令和7年版)												
編	編	章	節	条	項	下 項	現行条文				編	編	章	節	条	項	下 項	新条文 (項目見出し)				改定理由
2	2	3	8	2321	2	(3)	受注者は、設計図書的设计条件、資与資料及び現地踏査の整理結果を基に、予備設計を行うために必要な諸条件(設置目的、必要となる機能条件等)について確認するものと、構造検討に必要な荷重条件、自然・地盤条件、施工条件等についても設定するものとする。 また、ポンプの台数割、ポンプ形式の比較検討を行い、機場を構成する吸水槽、吐出水槽、吐出樋門、機場建屋等についての基本諸元を検討及び概略構造計算を行うものとする。				2	2	3	8	2321	2	(3)	基本事項の検討 受注者は、設計図書的设计条件、資与資料及び現地踏査の整理結果を基に、予備設計を行うために必要な諸条件(設置目的、必要となる機能条件等)について確認するものとし、構造検討に必要な荷重条件、自然・地盤条件、施工条件等についても設定するものとする。 また、ポンプの台数割、ポンプ形式の比較検討を行い、機場を構成する吸水槽、吐出水槽、吐出樋門、機場建屋等についての基本諸元を検討及び概略構造計算を行うものとする。 なお、決定された主要寸法を基に、施設全体的配置計画の検討(必要地画面積の検討を含む)を行うものとする。				内容加算
2	2	3	8	2321	2	(8)	受注者は、施工計画について、第2309条樋門詳細設計第2項(6)に準ずるものとする。				2	2	3	8	2321	2	(8)	施工計画検討 受注者は、施工計画について、第2309条樋門予備設計第2項(6)に準ずるものとする。				内容変更
2	2	3	8	2321	2	(11)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。				2	2	3	8	2321	2	(11)	照査 受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。				内容変更
2	2	3	8	2322	2	(13)	受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づき、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。				2	2	3	8	2322	2	(13)	照査 受注者は、第1108条照査技術者及び照査の実施に基づくほか、下記に示す事項を標準として照査を実施するものとする。				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-平面図-縮尺欄 1/200~1/1000				2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-平面図-縮尺欄 1/500~1/1000				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-本体工一般図-縮尺欄 1/20~1/1000				2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-本体工一般図-縮尺欄 1/100~1/1000				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-付帯工一般図-縮尺欄 1/20~1/1000				2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-付帯工一般図-縮尺欄 1/100~1/1000				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-機電設備工一般図-縮尺欄 1/20~1/1000				2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-設計図-機電設備工一般図-縮尺欄 1/100~1/1000				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-パース-摘要欄 A3版の着色				2	2	3	9	2323		表2.3.1	予備設計-パース-摘要欄 A-3版の着色				内容加算
2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-設計図-本体工構造詳細図-縮尺欄 1/20~1/200				2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-設計図-本体工構造詳細図-縮尺欄 1/20~1/100				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-設計図-仮設構造物詳細図-縮尺欄 1/20~1/200				2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-設計図-仮設構造物詳細図-縮尺欄 1/20~1/100				内容変更
2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-パース-摘要欄 A3版の着色				2	2	3	9	2323		表2.3.2	詳細設計-パース-摘要欄 A-3版の着色				内容加算